

令和4年度（令和4年4月～令和5年3月） 延べ利用者人数、稼働率平均一覧

		基準人数	延べ利用者人数		稼働率	
			R3	R4	R3	R4
かおる園	特養	36,500	34,434	30,084	94.3%	82.4%
	デイ	7,740	6,395	6,282	82.6%	81.2%
	短期	2,190	1,871	2,154	85.4%	98.4%
ハーブ	ケア	18,250	18,187	18,129	99.7%	99.3%
	特定	6,570	6,456	6,296	98.3%	95.8%
リハ		10,320	5,952	6,186	57.7%	59.9%
陽だまり	GH	6,570	6,334	6,374	96.4%	97.0%
	小規模	10,585	10,367	9,745	97.9%	92.1%
ひかり		13,181	11,821	10,798	89.7%	81.9%
ピンネ		21,900	20,748	20,332	94.7%	92.8%
あおば		9,125	8,541	8,715	93.6%	95.5%
フレーバー		6,456	5,065	4,783	78.5%	74.1%
ここ		2,507	2,192	2,353	87.4%	93.9%
虹	居宅	840	752	704	89.5%	83.8%
	相談	840	440	439	52.4%	52.3%
シナジー		6,456	-	483	-	7.5%

令和4年度 第4四半期

事業目標と結果 (事業所名：法人本部)

(令和4年度 運営ビジョン・運営方針)

<p>運営 ビジョン</p>	<p>100年先もあり続ける明和会を創る</p>	<p>運営 方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コーポレートガバナンスとコンプライアンスの再構築 ・人材採用と人材育成・定着の仕組み化 ・収入の見直しと新しい収入の創設 ・ICTの活用による業務の効率化と発信力の強化
--------------------	--------------------------	------------------	--

(全体総括)

<p>総務課：3年計画初年度の第4期として、一般事業主行動計画作成に伴うアンケート調査（事務局対応）に基づき、依頼があった年次有給休暇の時間取得に係る就業規則の変更に関して対応した。また、外部の協力を得て、法人の経営労務診断及び職員も満足度調査を実施し結果を公開した。</p> <p>総合施設課：リスク管理においてはルーティンに加えて各種指導監査や労務・安全衛生に関する業務、感染症対応、事業所からの相談など多岐にわたる対応を実施した。人財育成については年間を通じた研修会の実施や協議の場の提供に加えて他事業者と共同し外部研修会への講師派遣を実施した。令和5年度においては明和会の課題ごとに施設長を中心としたプロジェクトを設置し課題解決に向けて共に活動を実施する。</p> <p>財務課：かおる園の長寿命化施設整備計画を進めるため、令和5年度の施設整備補助金申請と合わせて、介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入支援事業の申請の準備を行った。</p> <p>マーケティング係：今期新たに公開を始めたご利用者・ご家族向け、一般向け、求職者向け構成と職員向けのホームページを各事業所と各部門と連携し、最新の情報を随時提供、閲覧者に向け更なる内容の見やすさのための改善を行った。 ご利用者ご家族向けに法人内の情報を発信する明和会広報誌として、全事業所向けに法人情報や事業所の様々な活動を発行準備する。</p> <p>法人事務局：クラウド請求書受領ソフトの導入を行ったことにより、大幅な業務改善されたことで、人事労務システムの導入について検討する時間が持て、2社よりシステムデモを使用した。デモ後、理事長へプレゼンを行い、オフィスステーションと3月に契約に至ることが出来た。次年度は導入したシステムを活用し、さらなるペーパーレス化、業務改善に努める。また引継ぎ勤怠システムが未導入の事業所へアプローチを続ける。施設長の務処理の知識については、今回財務課にて、策定ワークを行っていただいたが、勘定科目一覧の作成には至らなかった。次年度は、簡素化した人事労務手続き、勘定科目の一覧を作成し共有するようにする。</p>
--

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
<p>・規程の更新が出来ていなく、法人として必要な規程の整備と、従業員への周知が不十分</p>	<p>・法令に基づき、明和会に合った規程整備を行う。</p>	<p>・全職員に対する意識調査実施と明和会規程マトリックスに基づく規程整備を開始する。</p>	<p>・規程マトリックスを修正するとともに、関係する規程の整備を開始した。 ・外部サポートにより、法人の経営労務診断及び職員満足度調査を実施した。 ・一般事業主行動計画作成に伴う従業員アンケート結果に基づき、就業規則を一部変更を行った。</p>	<p>・法改正に伴う規程変更の実施 ・法人に必要とされる規程整備継続（たたき台の作成）</p>

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
・事業所のリスクが法人として掌握できていない	・リスクを掌握し、回避手段について事業所と共に考えることが出来るシステムをつくる。	・リスクを掌握し、回避手段について事業所と共に考えることが出来る委員会等システムの確立と運営	外部監査 1月 1回 2月 1回 3月 1回 入居者預り金管理状況確認 1月 1回 監事監査 2月 1回 デイサービスセンターかおる園の現地指導の対応を実施した。(口頭指導2件あり) 技能実習生機構現地検査の資料作成をかおる園と共同で実施した。 事業所とともに感染症の対応を実施した。 ストレスチェックを実施した。	各種指導監査、労務・安全衛生などのルーティン業務については施設長や事務局と相談をしながら共同して実施する。リスクマネジメントのシステムづくりについては、プロジェクトにより実施する。 外部(箕口顧問・WORKid等)の協力を得る。
・求める人財育成の実施と、キャリアパスの整備が必要	・人財育成が実践できる組織構成の基盤をつくる	・人財育成ができる人財を育成する	コーチング研修を継続して実施した。(毎月6時間) 施設長・副施設長を対象に事業計画、予算策定、組織編成に係る勉強会を開催した。(全体:3回・個別:随時) 法人運営会議を実施し採用と育成について協議した。 職員の育成を目的とした人事について協議し異動を実施した。 令和5年度の介護福祉士実務者研修実施について西野学園と協議した。	人財育成についてはプロジェクトにて実施する。 外部研修への講師派遣についても人材育成の視点からプロジェクトにて計画を作成し実施する。 外部(箕口顧問・WORKid等)の協力を得る。
・持続可能な事業所運営を行えるような支援活動が必要	・円滑な運営を事業所が行えるようにアクションプランと採算確認を実施する	・次年度の予算の作成に向けて、収入と支出のバランスを施設長と考えて反映する。	・1/30,2/28,3/30に経営会議を開きMP値と実績の差異の確認を行った。 ・各事業所で予算案を作成した予算案を事業所ごとに協議し内容を深めた。	・経営会議の精度を高めるため、様式の変更や指数の変更等を行う。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
<p>・明和会全体のタイムリーな魅力ある情報の発信ができていない。明和会の競争力を強化するため、イメージ向上にむけた情報を随時発信が必要。</p>	<p>・情報発信のツールの見直しと確立をおこない、各部門との発信内容の共有と収集方法を確立、自法人で管理出来るようになる。</p>	<p>・明和会 (新) ホームページ公開</p> <p>・利用者家族向け ・一般向け ・就職者向け ・職員向け ・法人商品販売PR</p>	<p>・明和会の利用者、家族向け、一般、就職者向けのホームページの随時NEWS内容の更新を行う。職員専用ホームページを多くの職員に利用して頂くため、新たな情報発信とアクセス方法の周知を行う。</p>	<p>マーケティング係は令和4年度にて終了となり、令和5年度より総合施設課と事務局に業務が引き継がれることとなる。</p>
		<p>・年4回の利用者・家族向けの広報誌発行</p>	<p>・明和会利用者・家族向け広報誌春号として1～3月の内容で構成準備を行う。</p>	
<p>・コロナの影響で出勤出来ない状況がある</p>	<p>・どこにいても仕事が行えるようデータ化、ファイルを共有できるようにする</p>	<p>・Googleやスキャナ機能の活用、経費精算システムの導入を目指す</p>	<p>①人事管理システムを2社に絞り、理事長へプレゼンを行った結果、オフィスステーションと契約を結ぶこととなった。</p> <p>②勤怠システムの事業所の導入について、3事業所（内1事業所正規職員のみ）の導入を行った。</p>	<p>①人事管理システムを活用し、クラウド化になることから、ペーパーレス化にも繋げていきたい。</p> <p>②未導入の事業所へ説明を行い、次年度より時間単位での有給休暇を導入することから、導入に向け動く。</p>
<p>・人事、経理の知識について事業所ごとに違いがある</p>	<p>・各施設長、勤怠管理担当者向けの研修を行う</p>	<p>・各施設長が労務、経理の基本的な知識を身につけスキルアップへ繋げる</p>	<p>・財務課にて予算策定ワークを行っていたが、勘定科目一覧、労務に関するマニュアル作成には至らなかった。</p>	<p>・基本的な労務に関する内容、勘定科目について一覧を作成する。</p>

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
福祉職場説明会（企業説明会）	3/5 （日）	来場者 198名 職員 3名	安藤課長、古島施設長、久保田施設長
正職員登用試験	3/13 （月）	面接対応 2名 受検者 1名 事務局 1名	理事長、古島施設長 新谷支援員 安藤課長
デイサービスセンターかおる園実地指導 （空知中部広域連合）	3/22 （水）	連合4名 明和会5名	鈴木事務局長、馬場係長、 中島氏、一ノ瀬氏 安藤課長、長田施設長、高橋ホーム長、鎌田相談員、小池事務局長
新十津川農業高校 「新十津川を学ぶ学習会」について ディスカッション	1/27 （金）	4名	（明和会）西川理事長、安藤課長、丹主任、田中
「ほおずきプロジェクト」 ほおずきスイーツ完成試食会	1/29 （日）	20名	（明和会）理事長、丹主任、ハーブガーデン利用者様3名、本間、田中（新十津川農業高校）生徒3名、教師2名 （徳富ほおずきの会）2名 （地元農家）3名（グリーンパーク）支配人、料理長（メディア）プレス空知1名
「ほおずきプロジェクト」 役場ほおずきスイーツ完成PR	2/3 （金）	9名	（役場）町長、教育長（明和会）久保田施設長、本間、田中（新十津川農業高校）生徒2名（徳富ほおずきの会） 地元農家2名
「ほおずきプロジェクト」 役場ほおずきスイーツ完成PR	2/8 （水）	12名	（道）鈴木知事（役場）町長、他3名（明和会）本間、田中（新十津川農業高校）生徒2名（徳富ほおずきの会）地元農家2名
「ほおずきプロジェクト」 ほおずきスイーツ販売 （グリーンパークしんとつかわ）	2/18（金） ～2/23 （木）	10名	（明和会）田中（新十津川農業高校）生徒4名、教師1名 （徳富ほおずきの会）2名 （グリーンパーク）支配人 （メディア）プレス空知1名
「ほおずきプロジェクト」 ほおずきPR新十津川中学校校長訪問	2/27 （月）	4名	（明和会）本間、田中 （徳富ほおずきの会）2名
「そらぶちワッペン」制作協力	3/25 （土）、 3/30（木）		（明和会）田中 ハーブ利用者様、職員

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
経営会議	1/30 (月)	理事長・課長2名・施設長9名・副施設長2名・事務局主任	・各事業所の採算表の確認 ・各事業所のアクションプランの確認と修正
経営会議	2/28 (火)	理事長・課長2名・施設長9名・副施設長2名・事務局主任	・各事業所の採算表の確認 ・各事業所のアクションプランの確認と修正
経営会議	3/30 (木)	理事長・課長2名・施設長9名・副施設長2名・事務局主任	・各事業所の採算表の確認 ・各事業所のアクションプランの確認と修正
法人運営会議	1/13 (金)	課長3名、施設長・副施設長11名 社会整備サポート協会河合氏	・明和会職場環境意識調査結果報告 ・法人及び各事業所における課題について
法人運営会議	3/13 (月)	理事長、課長4名、施設長・副施設長9名、係長1名 事務局主任 社会整備サポート協会河合氏	・令和5年度組織体制について ・ホームピンネ家族会からの意見書共有 ・採用と育成について ・社会整備サポート協会河合氏との意見交換
令和5年度組織編成キックオフミーティング	1/11 (水)	理事長、財務課長、総合施設課長、施設長10名	・自立支援研究室の在り方について ・理想の組織を定める
令和5年度事業計画・予算策定キックオフミーティング	1/11 (水)	理事長、財務課長、総合施設課長、施設長10名	・事業計画の作成方法の共有 ・予算作成方法の共有
事業計画・予算作成会議	2/2～2/27	理事長・課長2名・各担当施設長副施設長 ※事業所単位2～3回実施	・次年度における事業計画の協議・作成 ・次年度における事業予算の協議・作成
社会保険労務士事務所ワーキッド札幌担当者とのwebミーティング	1/6 (金)	山崎、飛渡	・経営労務診断及び事業所満足度調査の実施について ・有給休暇の時間取得の導入について
社会整備サポート協会河合氏とのwebミーティング	1/6 (金)	理事長、山崎	・河合氏による職員意識調査の調査結果報告
社会整備サポート協会河合氏とのwebミーティング	1/12 (木)	山崎	・職員意識調査結果の法人運営会議出席施設長への内容説明について
社会整備サポート協会河合氏とのwebミーティング	1/24 (火)	山崎	・職員意識調査結果の法人内従業員への周知方法について
社会整備サポート協会河合氏とのwebミーティング	2/8 (火)	山崎	・提出があった規程（案）の内容確認

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
社会保険労務士事務所 ワーキッド札幌担当者 とのwebミーティング	2/10 (金)	山崎、飛渡	・R4実績分の人事評価について
社会整備サポート協会 河合氏とのwebミーティ ング	2/15 (水)	山崎	・提出があった規程(案)の内容確認 ・2/24(金)の理事長への進捗状況(規程案の内容確 認)説明に関する事前ミーティング
社会整備サポート協会 河合氏とのwebミーティ ング	2/24 (金)	理事長、山崎	・規程整備に関する進め方に関する理事長への確認
社会保険労務士事務所 ワーキッド札幌とのweb ミーティング	3/2 (木)	理事長、安藤、土 岐、長田、河村、 事務局	・社会保険労務士事務所ワーキッド札幌による経営労務 診断の結果報告会
マーケティング係打合せ	1/19 (火)	本間、田中	1・2月の予定について
マーケティング係打合せ	3/27 (木)	本間、田中	3月の予定について
ほおずきプロジェクト 打合せ	1/6 (金)	徳富ほおずきの会 2名、農業高校生 徒3名、西川理事 長、本間、田中	「ほおずきスイーツ」について販売商品決定
ほおずきプロジェクト 打合せ	1/25 (水)	徳富ほおずきの会 2名、本間、田 中、グリーンパー ク加藤支配人	「ほおずきスイーツ」について商品販売方法について
事業所大会打合せ	1/18 (水)	各施設長10名、本 間、田中	事業所大会実施にむけた内容について
事業所大会打合せ	2/22 (水)	各施設長9名、本 間、田中	事業所大会実施にむけた内容について
法人事務局打合せ	1/26 (木)	土井、古木、飛渡	・次月スケジュール確認
法人事務局打合せ	2/24 (金)	土井、古木、飛渡	・次月スケジュール確認
法人事務局打合せ	3/29 (水)	土井、古木、堀 川、田中、飛渡	・次月スケジュール確認 ・次年度体制について

明和会プロジェクト

	開催日	参加者	内容
明和会プロジェクトに係る事前事務局webミーティング	1/16 (月)	理事長、安藤、土岐、山崎	箕口氏及び顧問名鑑古川氏との明和会プロジェクト前の打合せ
1月実施分明和会プロジェクト	1/23 (月)	理事長、課長職、係長職、施設長職 ※一部を除く	・コーチング研修 (one on one) ・成功体験の共有
明和会プロジェクトに係る事前事務局webミーティング	2/6 (月)	理事長、安藤、土岐、山崎	箕口氏及び顧問名鑑古川氏との明和会プロジェクト前の打合せ
2月実施分明和会プロジェクト	2/13 (月)	理事長、課長職、係長職、施設長職 ※一部を除く	・成功体験の共有 (教える喜びと学びの時間)
明和会プロジェクトに係る事前事務局webミーティング	3/13 (月)	理事長、安藤、土岐、山崎	箕口氏及び顧問名鑑古川氏との明和会プロジェクト前の打合せ
3月実施分明和会プロジェクト	3/20 (月)	理事長、課長職、係長職、施設長職 ※一部を除く	・明和会におけるコーチング研修のゴールについて

他

	開催日	参加者	内容
経営労務診断 (社会保険労務士事務所ワーキッド)	2/2 (木)	山崎、土井、長田、河村	社会保険労務士事務所ワーキッド札幌担当者による、本部事務所及びかおる園に対する経営労務診断
R4人事評価制度について	2/22 (水)	理事長、安藤、土岐、八木、山崎	・現在の法人内事業所における人事評価実施状況共有 ・経営管理職のポジショニングについて
就業規則変更内容説明	3/23・24・27・28・31	山崎、各事業所施設長及び各事業所従業員代表	・理事会で承認を得た、年次有給休暇の事案取得に関する就業規則内容変更に関する各事業所従業員代表への内容説明

研修

研修名	実施日	参加者	内容
事業計画予算策定勉強会	1/13	理事長、財務課長、総合施設課長施設長10名	<ul style="list-style-type: none"> ・理想の組織図を共有する ・職員の成長を促す異動を考える ・職員を確保する方法を検討する
事業計画予算策定ワーク	1/16	理事長、財務課長、総合施設課長施設長10名	<ul style="list-style-type: none"> ・運営ビジョンと運営方針の考え方 ・仲間、お客様、ビジネスの視点の考え方 ・事業計画と予算のつながり
事業計画予算策定ワーク	1/24	理事長、財務課長、総合施設課長施設長10名	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所事業計画の共有と意見交換
再発見！新十津川町を学ぶ学習会	1/27	農業高校教員・生徒、新十津川町職員、明和会理事長・総合施設課長・久保田施設長・マーケティング田中	<ul style="list-style-type: none"> ・新十津川町全般についての説明 ・農業分野についての説明 ・福祉についての説明 ・グループディスカッション、発表
ケアスタッフ研修会	2/1	安藤	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢による口腔内の変化とケアについて
事業計画予算策定ワーク	2/9	理事長、財務課長、総合施設課長施設長10名	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所事業計画の共有と意見交換
ケアスタッフ研修会	3/8	安藤	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地の地域精神医療の現状とこれから～顔の見える関係づくりの大切さ～
介護ICT推進セミナー（web）	3/10	田中	介護請求や会計の業務効率化に向けた説明

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
福祉職場説明会（企業説明会）	3/5 （日）	来場者 198名 職員 3名	安藤課長、古島施設長、久保田施設長
正職員登用試験	3/13 （月）	面接対応 2名 受検者 1名 事務局 1名	理事長、古島施設長 新谷支援員 安藤課長
デイサービスセンターかおる園実地指導 （空知中部広域連合）	3/22 （水）	連合4名 明和会5名	鈴木事務局長、馬場係長、 中島氏、一ノ瀬氏 安藤課長、長田施設長、高橋ホーム長、鎌田相談員、 小池事務局長
新十津川農業高校 「新十津川を学ぶ学習会」について ディスカッション	1/27 （金）	4名	（明和会）西川理事長、安藤課長、丹主任、田中
「ほおずきプロジェクト」 ほおずきスイーツ完成試食会	1/29 （日）	20名	（明和会）理事長、丹主任、ハーブガーデン利用者様3名、本間、田中（新十津川農業高校）生徒3名、教師2名 （徳富ほおずきの会）2名 （地元農家）3名（グリーンパーク）支配人、料理長 （メディア）プレス空知1名
「ほおずきプロジェクト」 役場ほおずきスイーツ完成PR	2/3 （金）	9名	（役場）町長、教育長（明和会）久保田施設長、本間、田中（新十津川農業高校）生徒2名（徳富ほおずきの会） 地元農家2名
「ほおずきプロジェクト」 役場ほおずきスイーツ完成PR	2/8 （水）	12名	（道）鈴木知事（役場）町長、他3名（明和会）本間、田中（新十津川農業高校）生徒2名（徳富ほおずきの会）地元農家2名
「ほおずきプロジェクト」 ほおずきスイーツ販売 （グリーンパークしんとつかわ）	2/18（金） ～2/23 （木）	10名	（明和会）田中（新十津川農業高校）生徒4名、教師1名 （徳富ほおずきの会）2名 （グリーンパーク）支配人 （メディア）プレス空知1名
「ほおずきプロジェクト」 ほおずきPR新十津川中学校校長訪問	2/27 （月）	4名	（明和会）本間、田中 （徳富ほおずきの会）2名
「そらぶちワッペン」制作協力	3/25 （土）、 3/30（木）		（明和会）田中 ハーブ利用者様、職員

令和4年度 第4四半期

事業目標と結果 (事業所名：特別養護老人ホームかおる園)

(令和4年度 運営ビジョン・運営方針)

運営 ビジョン	介護テクノロジーと知見を駆使して、関わるすべての方、働く人の幸福を探求する。	運営 方針	いつも新たなテーマにチャレンジし続ける。 暮らしの中に、自分でコントロールできる機会がある喜びを大切にする。
------------	--	----------	---

(全体総括)

様々な理由から利用者が減ってしまったことは大変反省すべきところですが、そのためのフロア編成組み換えによるサービス提供体制の変更など、組織に変化を加えることができたのは職員のモチベーションや慣れからの脱却など考えや視点のキッカケになったのではないかと思っている。
 コロナ禍の数年で内々にこもり考える力や働く意欲の低下が少なからずあったものと感じる1年であった。改めて次年度は利用者を元気にすることが一番の業務負担軽減になるという視点でケアを行えるように、学びの機会を積極的に設けていきながら職員の元気回復と同じ志を持った仲間を増やしていき、稼働状況を改善する。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
このままの人材不足と離職率では、必要な介護サービスを担保することはできない。労働環境をより良くしないと、人は集まらない。ケアの質も向上しない。	人が得意なところは人が行き、ロボットが得意なところはロボットに委ねていく。	じぶん時間増 +15m/日	勤怠アプリの導入は決めてから浸透が早かった。 組織の大きさではなく、体感することで浸透速度は上がる。	大規模修繕に伴うサービス基盤整備でのICT導入を念頭に、働き方も変わる、変えていくための説明会や機器選定の検討会を行う。
非効率な業務を改善し、超過勤務を減らしてケアに従事する気持ちの余裕とリフレッシュが必要。	一つ一つの業務等を簡素化できないか改めて考える。	時間外前年比 毎月-5%	・前年同月比 1月+17.8% 2月+33.8% 3月+17.3%	フロア編成組み換えとサービス提供体制の変更を実施する。改めて学びの機会を設け、メリハリのある職場をつくる。

【運営報告】

事業所名：特別養護老人ホームかおる園

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	2,800	3,100	36,500
延利用人数	R3	2,845	2,962	2,917	2,961	2,910	2,866	2,898	2,847	2,947	2,818	2,574	2,889	34,434
	R4	2,861	2,900	2,721	2,724	2,733	2,513	2,489	2,381	2,348	2,330	1,946	2,138	30,084
稼働率	R3	93.5%	94.4%	96.5%	94.8%	92.9%	94.7%	91.9%	94.0%	95.7%	89.6%	90.8%	93.7%	94.3%
	R4	95.4%	93.5%	90.7%	87.9%	88.2%	83.8%	80.3%	79.4%	75.7%	75.2%	69.5%	69.0%	82.4%
事業活動収入計	R3	31,573	31,046	33,913	33,197	32,275	32,544	32,739	32,417	32,907	31,458	29,337	35,701	389,108
	R4	32,280	32,770	31,776	31,123	30,701	28,279	29,098	27,976	26,774	28,672	23,218	28,184	350,852
当期資金収支差額		-4,759	-1,797	-1,357	-2,322	-6,889	-7,429	-6,413	-9,022	-9,691	-7,926	-10,795	-11,975	-80,375
職員数	40時間	46	46	46	46	46	46	47	47	47	47	46	47	-
	パート	14	14	14	13	13	13	13	13	14	14	14	14	-

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
職員会議①	1/4	施設長、室長、上郡、今泉、瀧澤、辻、平	・家族リモート面会の再開について ・フロア編成について ・勤怠アプリ導入に向けて
職員会議②	1/17	施設長、室長、上郡、瀧澤、辻、平	・フロア編成について ・人事について ・その他
職員会議①	2/1	施設長、室長、上郡、瀧澤、大路、辻、平	・盛り付けボランティアについて ・人事について ・各種行事について
職員会議②	2/21	施設長、室長、上郡、瀧澤、辻、平	・次月勤務調整について ・人事について ・体調不良（入院者）増について
職員会議②	3/1	施設長、室長、上郡、今泉、瀧澤、大路、辻、平	・環境整備ほか、連絡事項 ・新年度体制等 ・その他
職員会議②	3/21	施設長、室長、上郡、瀧澤、大路、山下、平	・フロア編成について ・その他その他

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染症予防委員会	1/4	施設長、高橋博、上郡、平、今泉、瀧澤、辻、勝山	・感染症流行情報 ・研修計画 ・その他連絡事項
褥瘡予防・医療的ケア委員会	1/4	施設長、上郡、平、今泉、瀧澤、辻、林	・各フロア利用者様皮膚状況 ・コロナクラスターの後遺症（食欲減：栄養不足）
高齢者虐待防止・身体拘束適正化委員会	1/17	施設長、上郡、木村、木下、水元	・昨年の虐待件数など情報の共有 ・虐待予防のアナウンスの効果について ・各フロアの振り返り
給食委員会	1/17	施設長、GH山下、上郡、林、木村、木下、水元、山本由	・状況確認、腸活メニューについて ・感染期間中の食事について ・行事イベント食について ・グリーンハウスへの協力依頼について
衛生委員会	1/17	施設長、上郡、大路、木村、木下、水元、勝山	・分かれて園内巡視 ・情報を共有し現場へ指摘事項を返す
事故防止委員会	2/1	室長、上郡、瀧澤、大路、辻、勝山、玉置	・1月の事故について ・車イスの点検 ・再発防止策検討会の実施に向けて
感染症予防委員会	2/1	上郡、平、瀧澤、大路、辻、勝山	・感染症流行情報 ・研修結果について ・その他連絡事項
学習療法委員会	2/14	室長、山本由、辻、山本陽、大路	・学習グループ、支援グループについて ・前月の月次報告・学習状況について ・連絡事項、その他検討事項

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
給食委員会	2/21	施設長、GH山下、上郡、林、木村、木下、水元、山本由	・状況確認、腸活メニューについて ・その他
衛生委員会	2/21	施設長、上郡、西川、大路、辻、木村、木下、勝山	・研修計画（アンガーマネジメント）
高齢者虐待防止・身体拘束適正化委員会	2/21	施設長、上郡、辻、木村、木下	・北海道のアンケート調査進捗について ・虐待予防のアナウンスの効果について ・各フロアの振り返り
感染症予防委員会	3/1	施設長、室長、高橋博、上郡、平、瀧澤、辻、勝山、玉置	・感染症流行情報 ・今年度の振り返り ・その他
事故防止委員会	3/1	施設長、室長、上郡、平、瀧澤、辻、勝山、玉置	・2月の事故について ・再発検討、事故予防に向けて ・研修計画について
褥瘡予防・医療的ケア委員会	3/1	上郡、平、瀧澤、辻、玉置	・各フロア利用者様皮膚状況 ・その他連絡事項
活動向上委員会	3/1	上郡、平、今泉、瀧澤、玉置、山本由	・MMSE検査について ・活動内容について ・その他
高齢者虐待防止・身体拘束適正化委員会	3/21	施設長、上郡、辻、木下、滝元	・面会や盛り付けボランティアなど今まで無かった分より気を引き締めるためアナウンス強化 ・各フロアの振り返り、張り紙刷新
給食委員会	3/21	GH山下、林、上郡、辻、木下、滝元	・状況確認、腸活メニューについて ・グリーンハウス側の食堂での盛り付け協力について ・行事イベントほか連絡事項
衛生委員会	3/21	上郡、西川、大路、辻、木下、勝山	・研修結果について ・一年の振り返り

研修

研修名	実施日	参加者	内容
原因不明の傷、痣、骨折への対応策web研修	2/9	上郡主任、玉置機能訓練指導員	原因不明の事故が虐待の疑いに繋がった事例、問題点と改善策、事故発生時の対応、「虐待の疑い」への対応等
令和4年度空知老人福祉施設職員（生活相談員等）研修会	3/17	平主任	困難に立ち向かう為のソーシャルワークIT化できること、できないこと等

令和4年度 第4四半期

事業目標と結果 (事業所名：デイサービスセンターかおる園)

(令和4年度 運営ビジョン・運営方針)

運営 ビジョン	利用者、職員ともに”働きたい”という良き人財が集まる。	運営 方針	いつも新たなテーマにチャレンジし続ける。 社会的なつながりを創り出すサービスを提供する。
------------	-----------------------------	----------	---

(全体総括)

<p>前期に特養コロナクラスターヘルプのため休業した件、当事業所でもコロナが発生したことにより利用者の利用離れが起きてしまったが、それでも今までの信用にて今期だけでも新規11件の契約を受けることができた。</p> <p>居宅ケアマネジャーから信頼を獲得し、リピートオーダーが頂けるようにできる限りの困難事例にも対応する姿勢や、コロナ制限が変化していく中で活動メニューもより豊かに展開していける見通しもあるため、質を向上させ評判を高めていきたい。</p>
--

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
<p>通いたい、通わせたいと思われる事業所(目的)にならない。 他市町の事業所との差別化をしなければ集客につながらない。</p>	<p>家庭、人生の技を教わり仕事に活かす。</p>	<p>仕事の創出、5種</p>	<p>計画はあるが実施できたものはなかった。 実地指導までの書類確認に追われてしまい、変化の少ないレク等の提供になってしまった。</p>	<p>カラオケ機器にある体操や音楽レク等のコンテンツについてdemoを試したり、外に出での活動メニューを増やす。</p>
<p>非効率な業務を改善し、超過勤務を減らしてケアに従事する気持ちの余裕とリフレッシュが必要。</p>	<p>一つ一つの業務等を簡素化できないか改めて考える。</p>	<p>時間外前年比 毎月-5%</p>	<p>1月 -07% 2月 -12% 3月 +61% 3月は退職者1、休職者1、実地指導準備が響き超過勤務が増えてしまった。</p>	<p>スタッフの補充をすすめること、書類等はクラウド保管で不備を後回しにしない業務手順を確立する。</p>

【運営報告】

事業所名： デイサービスセンターかおる園

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		630	660	630	660	690	630	660	630	660	660	570	660	7,740
延利用人数	R3	545	487	506	553	575	561	549	569	567	519	410	554	6,395
	R4	571	417	614	605	617	612	527	322	426	489	501	581	6,282
稼働率	R3	86.5%	73.8%	80.3%	83.8%	83.3%	89.0%	83.2%	90.3%	85.9%	78.6%	71.9%	83.9%	82.6%
	R4	90.6%	63.2%	97.5%	91.7%	89.4%	97.1%	79.8%	51.1%	64.5%	74.1%	87.9%	88.0%	81.3%
事業活動収入計	R3	4,610	4,052	4,682	4,868	4,985	4,737	4,706	4,978	4,923	4,668	3,817	4,895	55,921
	R4	4,952	3,544	5,733	5,295	5,278	5,466	4,646	2,690	3,705	2,262	1,802	2,130	47,502
当期資金収支差額		-72	9	940	1,241	367	308	-394	-2,327	-1,251	853	447	475	594
職員数	40時間	5	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	-
	パート	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4	4	-

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
在宅会議	1/21	施設長、鎌田、斉藤、鴨野、田湯	・稼働状況、利用者状況について ・施設見学の振り返り、レク等について ・その他内部研修
在宅会議	2/15	施設長、鎌田、高橋博、斉藤、鴨野	・稼働状況、利用者状況について ・コロナ対応について ・その他連絡事項
在宅会議	3/27	施設長、鎌田、高橋博、鴨野	・稼働状況、利用者状況について ・新規契約含め連絡事項 ・その他

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染症予防委員会	1/4	施設長、高橋博、上郡、平、今泉、瀧澤、辻、勝山	・感染症流行情報 ・研修計画 ・その他連絡事項
高齢者虐待防止・身体拘束適正化委員会	1/17	施設長、上郡、木村、木下、水元	・昨年の虐待件数など情報の共有 ・虐待予防のアナウンスの効果について ・各フロアの振り返り
給食委員会	1/17	施設長、GH山下、上郡、林、木村、木下、水元、山本由	・状況確認、腸活メニューについて ・感染期間中の食事について ・行事イベント食について ・グリーンハウスへの協力依頼について
事故防止委員会	2/1	室長、上郡、瀧澤、大路、辻、勝山、玉置	・1月の事故について ・車イスの点検 ・再発防止策検討会の実施に向けて
感染症予防委員会	2/1	上郡、平、瀧澤、大路、辻、勝山	・感染症流行情報 ・研修結果について ・その他連絡事項
給食委員会	2/21	施設長、GH山下、上郡、林、木村、木下、水元、山本由	・状況確認、腸活メニューについて ・その他
高齢者虐待防止・身体拘束適正化委員会	2/21	施設長、上郡、辻、木村、木下	・北海道のアンケート調査進捗について ・虐待予防のアナウンスの効果について ・各フロアの振り返り
感染症予防委員会	3/1	施設長、室長、高橋博、上郡、平、瀧澤、辻、勝山、玉置	・感染症流行情報 ・今年度の振り返り ・その他
事故防止委員会	3/1	施設長、室長、上郡、平、瀧澤、辻、勝山、玉置	・2月の事故について ・再発検討、事故予防に向けて ・研修計画について
高齢者虐待防止・身体拘束適正化委員会	3/21	施設長、上郡、辻、木下、滝元	・面会や盛り付けボランティアなど今まで無かった分より気を引き締めるためアナウンス強化 ・各フロアの振り返り、張り紙刷新
給食委員会	3/21	GH山下、林、上郡、辻、木下、滝元	・状況確認、腸活メニューについて ・グリーンハウス側の食堂での盛り付け協力について ・行事イベントほか連絡事項

令和4年度 第4四半期

事業目標と結果 (事業所名：自立支援研究室)

(令和4年度 運営ビジョン・運営方針)

<p>運営 ビジョン</p>	<p>30日間で10年前の くらしを取り戻す！</p>	<p>運営 方針</p>	<p>私たちは・・・ ①自立支援介護とパワーリハビリテーションを併用して利用者が元気になるサービスを展開する。 ②一人一人が自立支援介護とパワーリハビリテーションの知識と技術を高め、あらゆるケースに対応できるチームを作る。 ③利用前後の違いがわかる数値や動画など目で見てわかる記録・データを整備する。 ④利用者を元気にすることをあきらめない。</p>
--------------------	---------------------------------	------------------	---

(全体総括)

新型コロナのクラスターに伴い、利用者の身体状況も悪化している方が数名いらっしゃったが、取り組みによって改善が見られている方もいた。しかし、記録や動画などの情報が少なく、事例としてまとめるには不十分だった。今後、かおる園のケアとして紹介し、利用する立場としても働く立場としても魅力を感じられるようにしていかなければいけない。今年度、自立支援研究室として活動を行ってきたが、一部だけが行う特殊な手法のようにみられる事が多かった。しかし、明和会のスタンダードの介護として行えるようになっていく必要があると考える。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
<p>利用者を元気にするためのノウハウの確立</p>	<p>【入所者】 利用者の状態改善</p>	<p>【入所者】 改善事例 6事例以上</p>	<p>・改善事例1件 コロナにより体調やADLが低下していた利用者について改善が見られている。 (記録が少なく事例としてまとめられない。)</p>	<p>・明和会の介護が必要な方のいる事業所へ自立支援介護の考え方を伝えていく部署となっていく。 PDCAのサイクルに沿ってケアを行える習慣をつける。</p>
	<p>【短期利用者】 利用者の在宅生活継続状況</p>	<p>【短期利用者】 排泄の失敗 歩行していない人 上記の改善事例 6事例以上</p>	<p>・改善事例1件 コロナにより体調やADLが低下していた利用者について改善が見られている。 (記録が少なく事例としてまとめられない。)</p>	
<p>自立支援介護のスペシャリストを育成する仕組みを作る。</p>	<p>職員育成方法の確立</p>	<p>・プリセプター制度の運用 ・自立支援パワーポイント事例4件 ・内部研修講師⇒部署内全正職員</p>	<p>計画通りに実施できていなかった。コロナの影響もあるが、定期的なチェックと予定通りいかなかったときの計画の修正を行う機会をうまく持てなかったことが要因。</p>	

【運営報告】

事業所名： 短期入所生活介護 かおる園

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2,190
延利用人数	R3	142	195	137	149	107	139	164	144	164	202	149	179	1,871
	R4	197	221	225	182	139	144	181	156	193	157	163	196	2,154
稼働率	R3	91.4%	138.7%	114.4%	92.4%	89.2%	53.3%	66.1%	49.4%	25.8%	31.7%	52.4%	86.6%	85.4%
	R4	109.4%	118.8%	125.0%	97.8%	74.7%	80.0%	97.3%	86.7%	103.8%	84.4%	97.0%	105.4%	98.4%
事業活動収入計	R3	1,342	1,999	1,540	1,360	1,398	1,635	1,676	1,635	1,744	2,126	1,753	1,929	20,138
	R4	2,157	2,422	2,277	2,074	1,921	2,201	2,736	1,919	2,064	2,262	1,802	2,130	25,964
当期資金収支差額		772	1,066	990	1,304	559	830	1,391	397	212	853	447	475	9,296
職員数	40時間	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-
	パート	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
自立支援研究室 部署会議 1月	R5.2.13	河村、河西、水元、山下、小暮、野呂、辻	業務内容について 各ご利用者様の支援について

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題